



プレスリリース

一般社団法人日本原子力学会
リスク部会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため**、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。
今回は、シンポジウム『安全目標』再考－なぜ安全目標を必要とするのか？－開催のお知らせです。

日本原子力学会リスク部会シンポジウム開催のご案内
『安全目標』再考－なぜ安全目標を必要とするのか？－

リスク部会では、**2018年3月**に東京大学の弥生研究会から発行された論文「『安全目標』再考－なぜ安全目標を必要とするのか？－」を題材としたシンポジウムを開催いたします。

この論文は、東京電力福島第一原子力発電所事故を経ても、「なぜ安全目標が重要なのか」が広く共有されているとは言い難く、原子力安全における最も重要かつ根源的な問い“**How safe is safe enough?**”についての考察を深めるための議論が巻き起こる状況になっていない点を懸念し、今後の原子力技術の利用にあたって必須となる安全目標の議論に一石を投じる目的で執筆されています。安全目標とは何か、安全目標の姿はどうあるべきか、誰がどのように活用すべきか、さらに社会との関係のあり方についての包括的な考察と議論が展開されています。本シンポジウムでは、本論文の著者をはじめ、産業界、学界の有識者を講師としてお招きし、講演および総合討論において、参加する皆さまの理解を深めるとともにご意見を伺う機会を設けます。

日 時:2018年8月26日(日) 13:00～17:00
場 所:東京大学 本郷キャンパス11号館 講堂 https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_12_j.html
主 催:日本原子力学会リスク部会
共 催:東京大学弥生研究会 東京大学リスク俯瞰工学講座 電力中央研究所原子力リスク研究センター
国際環境経済研究所
後 援:日本原子力学会原子力安全部会
参加費: 無料
プログラム:

開会挨拶・趣旨説明	成宮 祥介 (リスク部会副部長、JANSI)
講演1 安全目標がなぜ今必要なのか	山口 彰 (リスク部会長、東京大学)
講演2 安全目標を事業者がどのように活用するか	浦田 茂 (原子力エンジニアリング)
講演3 安全目標と社会とのかかわり	菅原 慎悦 (電力中央研究所)
講演4 安全目標をめぐる日本の経緯と「構造災」	寿楽 浩太 (東京電気大学)
総合討論	

安全目標はどうあるべきかについて／安全目標の活用について／安全目標と社会のかかわりについて
パネリスト: 山口 彰、浦田 茂、菅原 慎悦、寿楽 浩太、示野 哲男 (原子力エネルギー協議会)
モデレータ: 竹内 純子 (国際環境経済研究所)

閉会挨拶 丸山 結 (リスク部会副部長、JAEA)

本シンポジウムの取材申込みは、8月23日(木) 15時までに、氏名(ふりがな)・所属・連絡先(E-mail/電話)を risk2018-seminar@risk-aesj.sakura.ne.jp 宛メールにてご連絡ください。
担当 : 河合 勝則 (リスク部会幹事、MHI NS エンジ)

本件に関する取材等お問合せ先: 日本原子力学会リスク部会 河合勝則
(MHI ニュークリアシステムズ・ソリューションエンジニアリング株式会社)
TEL: 045-200-6089 / E-mail: risk2018-seminar@risk-aesj.sakura.ne.jp